

付託された議案・請願等を審査 委員会の

市議会には、4つの常任委員会が設置されており、本会議で付託された議案・請願、所管事務調査による行政報告等、各所管事項について詳細にわたり審査を行っています。その中から、各委員会の主な審査状況をお知らせします。

建設

9月11日・14日・18日に議案6件、請願1件、認定1件の審査を行いました。

鶴見川遊歩道近くにトイレの設置を求める請願

委員 市民が鶴見川の遊歩道を安心してウォーキングするには、遊歩道に近いところに利用できるトイレが必要だと思ふ。ただ、維持管理などを考えれば、どこにでもトイレを造れるということではないと思ふ。市は、市民や来訪者がトイレを利用できる環境づくりをどう進めているのか。

環境保全課長 要望箇所全てに設置するには、周辺に住まいの方の合意、防犯面、安全面、衛生面などの課題があり、限界があります。そのため、コンビニなど民間施設内のトイレを利用できる公共トイレ協力店を増やしていくことで、いつでも、どこでも安心してトイレを利用できる環境づくりを進めています。

委員 気兼ねなく利用できるような市のほうで、もっと工夫をする必要があるのでは。

環境保全課長 安心して利用しやすい公共トイレがどこにあるか分かるよう、現地に看板を設置するなど検討します。また、協力店にはシールの掲示をお願いしています。

委員 シールを貼るようお願いしているということだが、散歩の方はお断りのような話があった。シールが貼ってあったか確認されたか。

環境保全課長 付近の4店舗について確認をしました。掲示されているところが3店舗、1店舗は貼られていなかったということ。改めてシールをお渡しし貼っていたかどうか確認をお願いします。

文教社会

9月11日・14日・18日に議案11件、請願2件、認定1件の審査を行いました。

総合的な危機管理体制強化のため危機管理室の創設を求める請願

委員 平時で言う防災安全部と危機管理室がやる役割は、何か違いはあるか。

防災課長 防災危機管理、治安対策に関する総合調整ということ、平時から地域防災計画の修正、訓練のこととかをやっていますので、基本的には同じと考えています。

委員 地域防災マネージャー制度がないことが違うかと思う。市には地域防災マネージャーがないが、既に体制が整っているということか。

防災課長 地域防災マネージャー制度は、地方公共団体の職員も実務経験等の要件を満たせば、防災スペシャリスト養成研修などの研修を受けてなれると確認しています。

今後、調査研究していきたいとは思っています。

防災安全部長 非常時、災害時等の対応のために平時時から準備をしているが、災害などが発生したときに、平時の仕事の仕方をいかに継続、再開をしていくかが重要になってきまして、全国的にBCPをつくることになっていきます。市も11年からBCPを策定、繰り返し修正をして、充実を図っているところで、平時の業務を日頃から統括をしている立場の副市長が、他市で言う危機管理監的な役割を果たして、本部会議の前に必要な準備の指示、情報の共有などをして部長の意思決定をする体制を整えていますので、そういった意味では請願者のお話にあったとおりの体制は取っているという考えです。

決算審査（建設）

認定すべきものと決定

- ・公正な手数料を徴収するために、行政による許可を必要とする屋外広告物許可に関する徴収方法を検討されたい。
- ・「町田市第4次環境配慮行動計画」で示した目標増減率の達成のために、市内の温室効果ガス排出量のさらなる削減に努められたい。
- ・ポイ捨て、路上喫煙に関して、決められた禁止事項が適正に守られるように、指定場所の道路標示・看板類の整備と巡回指導に一層努められたい。
- ・指定収集袋の手数料収入の基金に関して、プラ資源化施設、ビン・カンの資源化施設等を含めた施設の衛生・安全向上の確保・改善にも充てられたい。
- ・不法投棄につながる違法回収業者への指導対策に取り組まれたい。
- ・電力調達を39施設で電力事業者を変更したが、残る施設にも光熱費削減を推進されたい。
- ・民営自転車等駐車場助成事業については、今後の需要に応じて、対応を検討されたい。
- ・街路樹等管理委託料については毎年固定費となっている。樹木の選定などをして、委託料の軽減に努められたい。
- ・自転車を利用する市民は、増加傾向にある。安全・安心して通行できる自転車走行空間の整備を推進されたい。
- ・下水道本管等の施設維持管理費抑制のため、阻集器（グリーンストラップ）等を活用し、適正利用率のさらなる向上を図られたい。
- ・汚水、雨水管については、老朽化、増加傾向にある。調査を強化し、計画的に効率的な維持管理に努められたい。
- ・浸水履歴8エリア13箇所のうち工事完了は3箇所であるとの報告であったが、雨水対策は集中豪雨・大型台風等の被害を未然に防ぐことが望ましい。一層の雨水対策に努められたい。

など計28件の意見を附帯決議として付しました。

決算審査（文教社会）

認定すべきものと決定

- ・地域活動サポートオフィスについて、市民活動の活性化のため、さらなる努力をされたい。
- ・男女平等推進事業について、対応する側の体制として、質・量とも連動させ強化されたい。
- ・「幼児教育・保育の無償化」に伴う事務負担軽減のため、事業者の人的補強に対する財政支援を行われたい。
- ・待機児童の状況は地域別に格差が激しい。確実な施設設置をした上で、バッファ機能として送迎保育ステーションの適切な配置をされたい。
- ・「おうちでごはん」事業については今後、寄付額に応じた事業規模とするよう臨機応変な対応を検討されたい。
- ・子どもクラブについて、条例では18歳未満の利用となっているが、（条例改正し）利用の少ない時間帯に高齢者にも使用できるよう柔軟な対応をされたい。
- ・新たな「まちとも」を実施するのに人材不足で困難な学校もあるため、サポート体制を強化されたい。
- ・悪質商法から市民を守るため、消費者被害の未然防止に力を入れられたい。
- ・洪水ハザードマップについて、より効果的なものにするため、浸水対象世帯数、災害廃棄物想定排出量等を検証し、公表されたい。
- ・ひとり暮らし高齢者への防災行政無線戸別受信機、防災ラジオ等の供給を含め、的確な情報伝達ができる取組を推進されたい。
- ・中学校給食の喫食率をあげる上で、献立の改善のみならず給食のPRに力を入れる等、食べ易い環境づくりを推進されたい。
- ・給食調理室の環境について、空調整備等、より調理員が調理しやすい環境改善を早急に実施されたい。
- ・ICT導入については、教員に過度の負担がかからず、円滑な立ち上げになるよう取り組まれたい。特別な支援を必要とする児童生徒への人的資源について配慮されたい。
- ・市立博物館の今後について、地元住民との話し合いを継続されたい。
- ・地域スポーツクラブとスポーツ施設との連携をさらに強化し、地域の人が身近でスポーツをすることができるよう環境整備に努められたい。

など計65件の意見を附帯決議として付しました。

令和2年度(2020年度)7月補正 会計別予算構成表

(単位：千円)

区分	補正前の額	構成比(%)	補正額	計	構成比(%)
一般会計	213,484,322	63.7	2,618,446	216,102,768	64.0
国民健康保険事業会計	40,257,193	12.0	0	40,257,193	11.9
介護保険事業会計	35,427,828	10.6	0	35,427,828	10.5
後期高齢者医療事業会計	11,846,530	3.5	0	11,846,530	3.5
特別会計					
鶴見川南土地区画整理事業会計	69,166	0.0	0	69,166	0.0
下水道事業会計	17,841,273	5.3	0	17,841,273	5.3
収益的資本的	12,411,090	3.7	0	12,411,090	3.7
資本的	5,430,183	1.6	0	5,430,183	1.6
病院事業会計	16,208,046	4.9	0	16,208,046	4.8
収益的	14,962,615	4.5	0	14,962,615	4.4
資本的	1,245,431	0.4	0	1,245,431	0.4
小計	121,650,036	36.3	0	121,650,036	36.0
合計	335,134,358	100.0	2,618,446	337,752,804	100.0

は、一般会計補正額のうち歳入は、国庫支出金25億128

対策費17億1020万円。

7月補正予算額は、一般会計の歳入・歳出がそれぞれ、26億1844万6千円となり

ます。

商工費

障がい者福祉費の障がい者サービス事業継続支援事業費11750万円。介護保険事業費の介護サービス事業継続支援事業費2億8048万円。児童福祉総務費の児童扶養手当費4億1738万9千円。

民生費

0万9千円、都支出金1億563万7千円です。歳出の主なものはおおむねこのとおりです。

令和2年度7月補正予算のあらまし

令和2年3回町田市議会臨時会が、7月21日に開催されました。この臨時会では、「令和2年度(2020年度)町田市一般会計補正予算(第3号)」が提案されました。審議の結果、全員一致で可決されました。

令和2年3回臨時会を開催